

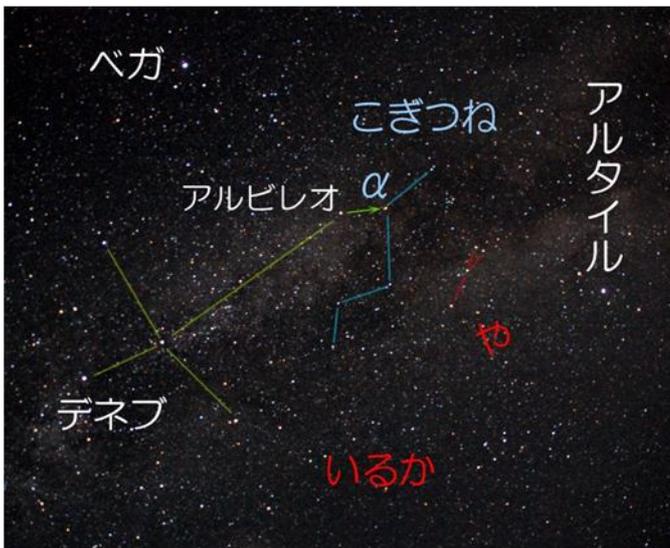
「天の川をめぐる星座(4) ~こぎつね座」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

「おおいぬ座---こいぬ座」「おおぐま座---こぐま座」
「しし座---こじし座」・・・これらは大小のペアが、
それぞれ星座になっているが、「きつね座」というの
はなく、「こぎつね座」だけが単独で存在する。

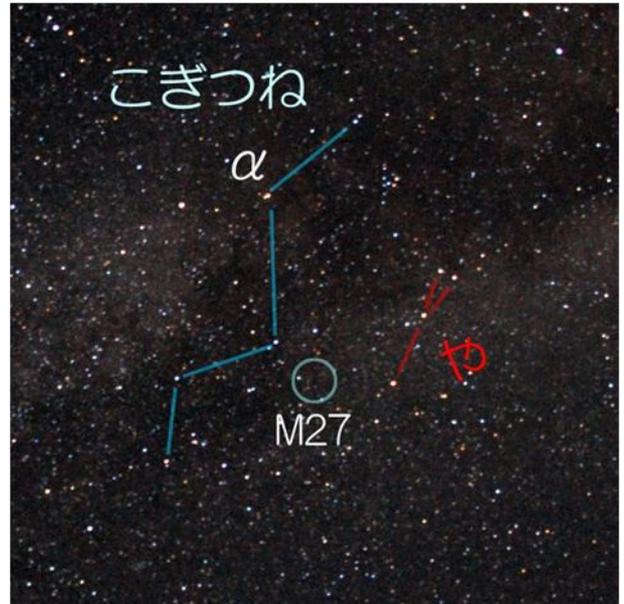


こぎつね座は、や座のとなり、夏の大きな三角のど真ん
中に位置する。天の川の中に没して、ちょうど暗
黒星雲の位置にあるが、目立たず知名度も低い。



一番明るい α 星は、アンサーという4等星である。
「アンサー」というのはラテン語で「ガチョウ」とい
う意味で、こぎつねがくわえている獲物のガチョウの
ことらしい。この α 星は、はくちょう座の首を延ばし
て、アルビレオから少し右に折れた位置にある。はく
ちょう座のアルビレオとこぎつね座 α 星は、共に二重
星で、双眼鏡や天体望遠鏡で見ると非常に美しい。

こぎつね座も非常に不遇な星座と言える。しかし、天
体写真を趣味とする者にとっては、M27 というすばら
しい撮影対象があり、見逃せない星座の一つだ。



M27は惑星状星雲の一つだ。恒星は、実体がどんな
に大きくても、点像にしか見えない。しかし、赤色巨
星の残骸である惑星状星雲は、天球上で惑星のように
面積を持っている。M27はその形状から「亜鈴状星雲」
と呼ばれ、双眼鏡でもよく見える。私の技術と機材で
は、まだまともに撮影できた写真はない。



「こぎつね座 亜鈴状星雲 M27」 嬬恋村 C.Tanaka